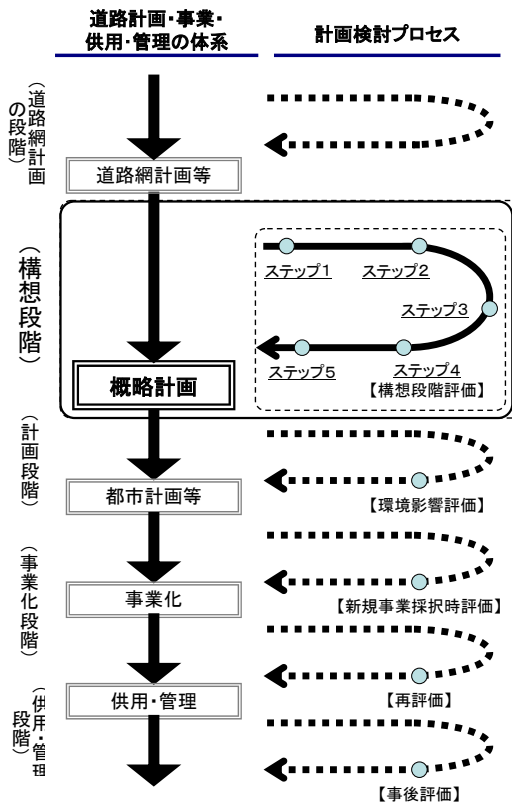


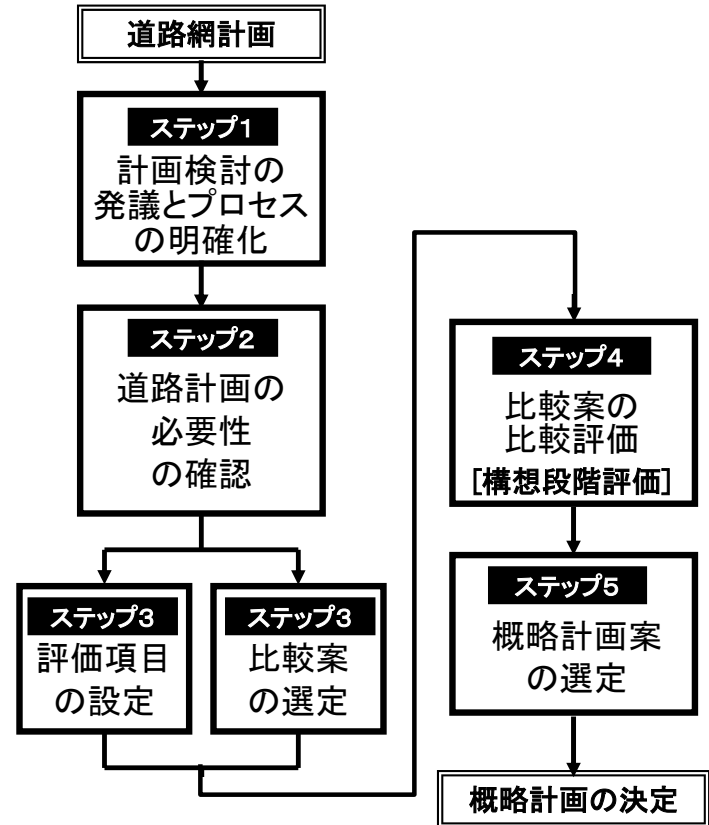
構想段階PIの概要

1. 構想段階PIとは、計画決定プロセスの透明性・客観性を高め、公正な判断を行うため、道路の概ねの位置や構造等の基本的な事項(概略計画)を決定する段階において、市民参画の導入を図ることを指す。
2. 具体的には、道路整備しない案を比較評価のベースラインとして、交通改善の効果、周辺環境への影響、土地利用状況への影響、地域活性化の効果等の分野について評価項目を設定し、比較案の評価を実施。

○道路計画にける構想段階の位置づけ

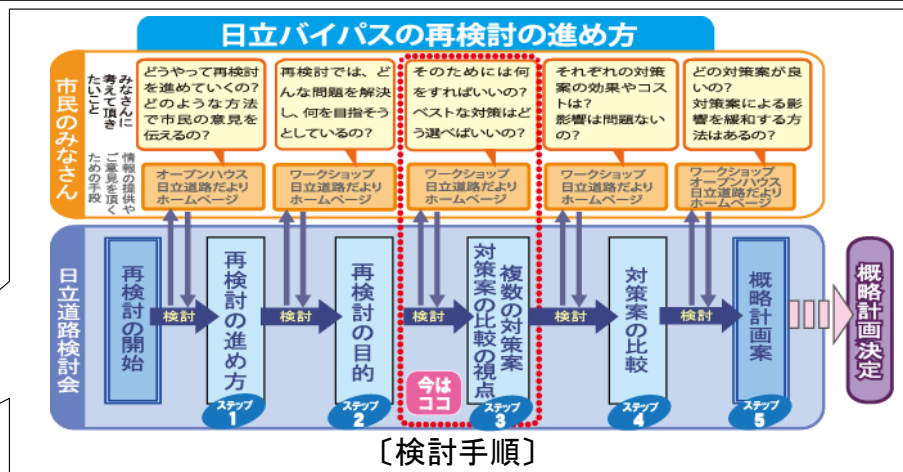


○構想段階における計画検討プロセス



構想段階PIの事例(日立バイパスの事例)

1. 日立道路検討会において、昭和59年の都市計画決定から長期間未着手であった日立バイパス(旭町～河原子町)を中心に、再検討を実施
2. 検討にあたっては、市民の方に情報を提供するとともに、意見を伺いながら検討を進めるPIを導入。
3. 検討の進め方、再検討の目的の検討や複数の対策案の比較などの段階を経て、今後、概略計画案を作成。
4. 写真やイラストを使い、わかりやすく展示・紹介する『オープンハウス』や、「地元や道路ユーザーなどから幅広く意見を聞く」、「市民同士が話し合える」機会として『ワークショップ』を開催するなどして、市民の方との意見交換を実施。



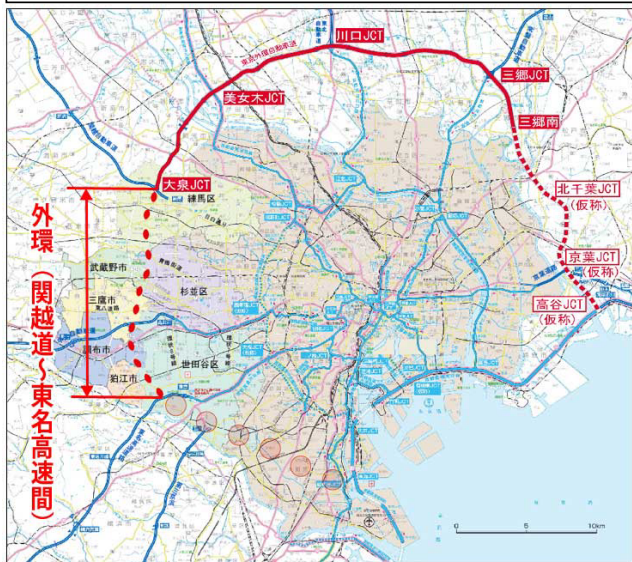
〔オープンハウス〕



〔ワークショップ〕

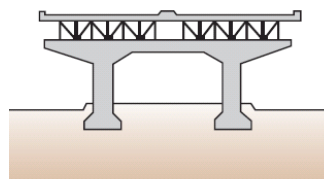
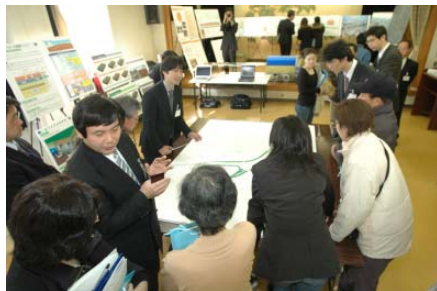
構想段階PIの事例(東京外環の事例)

1. PI外環沿線協議会の開催や、地域の意見を聴くためのオープンハウス等を実施。
2. 地元との話し合いにおいて幅広く把握した意見などを踏まえ、高架構造からトンネル構造への変更やインターチェンジなどの計画を見直し。
3. 平成19年4月にそれらを踏まえて都市計画を変更。
4. 引き続き、地域の懸念などを具体的に聴きながら、詳細な検討などに反映させるため地域ごとにPIを実施。

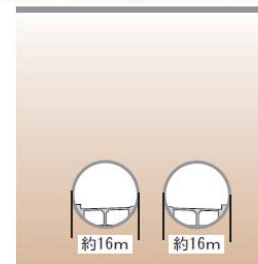


【PI外環沿線協議会の模様】

【オープンハウスの模様】



昭和41年 都市計画決定(高架方式)



平成19年 都市計画変更決定(地下方式)